

まちなか再生事業の取り組み 7

直近の経過について	
令和4年5月11日	第4回全員協議会 事業に係る協定書や今後の進め方・課題等についての協議を行いました。
令和4年5月11日	第11回市街地総合再生基本計画推進協議会 これまでの協議を反映させた計画案や過去の協議会で出された意見・アイデアを基に、持続可能な運営についての掘り下げや各施設（機能）が相互に連携する具体的仕組みについての検討を行いました。
令和4年5月30日	整備用地における解体着手（完了は令和4年6月下旬頃を予定）
令和4年5月下旬	基本設計の完成

今後の進め方について（予定）	
時期未定	運営検討委員会の設置・開催（予定） 持続可能な運営や各施設（機能）が相互に連携する具体的仕組みや進め方についての検討を行います。
令和4年6月1日	基本設計概要版の全戸配布 本誌（広報つべつ6月号）への折り込みとして全戸配布を行います。
令和4年6月20日	基本設計住民説明会 午後6時30分より中央公民館講堂 基本設計の内容について説明します。詳しくは、本誌折り込みチラシをご覧ください。
令和4年7月上旬頃	本体工事の着工開始（完了は令和5年3月15日頃を予定）
令和4年7月下旬頃	第12回市街地総合再生基本計画推進協議会 持続可能な運営や各施設（機能）が相互に連携する具体的仕組みや進め方についての検討を行います（運営検討委員会からの提案など）。

お知らせ 上部にも記載のとおり、本誌に基本設計の概要版を折り込み配付しています。
ご意見やご質問のある方については、下記の問合せ先や問合せフォーム等にご連絡をお願いします。

これまでの議論経過や配付資料、Q & A等については下記に掲載しています。

津別町 HP 内【津別町市街地総合再生基本計画】ページ
詳しくは…… [津別町市街地総合再生基本計画](https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/20machizukuri/sousei/tsubetsu_shigaichi_sougousaisei.html) [検索](#)

https://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/20machizukuri/sousei/tsubetsu_shigaichi_sougousaisei.html

《事業に対する問い合わせや疑問、出張説明のご依頼などを随時受付しています》

<https://forms.gle/yTHPNLhpAMLdEpbL6>

QRコードが読み込める機器をご使用の場合は、ここからアクセス可能です▶

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14 番窓口 ☎ 77-8374 e-mail : toukei@town.tsubetsu.hokkaido.jp

まちなか再生事業の整備や運営について、協議を進めている「津別町市街地総合再生基本計画推進協議会（以下、協議会）」が、5月11日に第11回協議会を開催しました。

第11回協議会では、これまでの協議を反映させた配置計画案を提示し、了承をいただきましたので、今後は基本設計を完成させるとともに、実施設計を進めていきます。

また、会議では、会長および欠席委員を除く委員9名が2つのグループに分かれ議論するグループワーク（以下、GW）形式で、今回提示の配置計画案を前提として、これまでの協議会で出された意見・アイデア等の実現可能性や持続可能な運営についての掘り下げ、

【GW発表の概要】

〈A班〉 持続可能な運営を目指すために、買い物を増やさなければならぬ。現状では町外で買い物をする若者も多い。経営者側が持続可能かという問題もあり、後継者がいない場合には皆で新たな経営体を考える必要がある。

人口が減りマーケットは小さくなっていくが、道の駅は外から人を呼ぶので商圏を広げることにつながる。国土交通省の位置づけにこだわる必要はなく、道の駅のような扱いであれば良い。町外在住者が多く買い物に来れば、町内の若者も含めた買い物を増やす打開策になる。取り扱いは町内の地場産品だけでなく、近隣

市町村の特産品も取り扱うべき。

運営を検討する際にはスーパー経営者にも入ってもらい、「できる」「できない」を判断してもらうことも大切で、「必要だが『できない』ことをどう実現していくかも検討していかなければならない。農と商の連携や若者客の利用促進のためにも一緒に取り組んでもらったり、聴き取りなども必要か。

〈B班〉 施設の敷地を有効活用して企画運営を検討しても足りないのではないのか。その場合はキッチンカーを呼ぶなどで対応が考えられる。施設管理と運営管理があるが、これまでお金の話が出てきておらず、今後は誰がいつどこで議論していくのだろうか。

施設の在り方について、道の駅そのものを指すとはハード的な問題や、図書館の開館時間、スーパーマーケットの営業時間などの兼ね合いで、来館しても買い物や食事ができないとマ

イナスなイメージが広がってしまう。そのため、正式な道の駅というよりも地域の特産品が手に入ったり、魅力発信の場であったりというのが重要。

現在アンテナショップを有しているさんさん館とどう連携していくのか。

これまでも、多くの機能についての意見やアイデアが出されています。今後についても検討を進めながら、持続可能な施設運営についての議論を進めていきます。

過去の協議経過につきましては、町ホームページに順次掲載していきますので、次頁に記載のURLやQRコードよりインターネットを介してご覧いただけます。

また、事業に対するお問い合わせや疑問、出張説明会のご要望も随時受け付けていきます。次頁に記載のQRコード、電子メールや電話でご連絡をお願いいたします。ぜひご利用いただき、事業への理解を深めていただければと存じます。

